

事業所における自己評価結果					
事業所名		公表			
あいうえおん みらい		公表日 2026年2月10日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境体制・整備・運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		訪問先や保護者の意向に合わせ支援している。必要な教材は、訪問先の教材をお借りし、支援を行っている。必要であれば訪問先と会議し検討し用意する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		法令で必要とされる職員を配置している。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		毎回行っている職員会議では支援の内容や子どもの姿などについて話し合っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		一人一人の意見等を把握する機会を設けたり、月一回リーダー会議を行い、業務の改善に努めている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		相談支援員の率直な意見を伺いながら業務の改善につなげている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		内部研修としてマニュアル等についての研修を行ったり、オンラインによる研修、外部施設への見学等を行い資質の向上を目指している。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、保育所等訪問支援計画を作成している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		活動前後のミーティングやプログラム立案会議時に職員間にて支援内容や役割分担について把握できるように努めている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先施設と担当者の意向を会議等で話し合い意向を盛り込んで支援を行っている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		職員間で共有し、計画に沿って支援を行っている。
12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		チェックリスト評価表を使用し、日々の観察を通じたアセスメントシートを活用しています。具体的には、子どもがどのような場面で問題行動を示すか、またはうまく適応できているかを観察し、その結果を記録し、保護者や教師とのコミュニケーションを通じて、日常生活での子どもの様子を把握し、個別の支援方法を工夫しています。	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容を設定している。	
14	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		その都度、ミーティングを行い、情報共有を行っている。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容の確認などチームで連携して支援を行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	

	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っている。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		半年に1回、保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画している。	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて関係機関と連携している。	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		必要に応じて教育機関と情報共有と相互理解を図っている。	
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		外部研修に参加している。	
	24 (自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		機会があれば、参加したい。	引き続き情報収集に努めたい。
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		地域のコミュニティサークルを利用して、参加を促している。	
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に説明を行っている。 不明点については随時職員が説明するようしている。	
保護者等への説明等	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		リーフレットを用いて適切に説明をし、質問に的確に答えている。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		児童発達支援ガイドラインに基づいた児童発達支援計画を作成し、保護者に確認と同意、捺印をいただいている。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		通所時やHUGシステム連絡事項、LINEでの相談は随時受け付けており、保護者からの話を受け止めながら必要に応じた支援を行えるように心がけている。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		多機能である児童発達支援の保護者会等で交流する機会を設けている。	
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		保護者から相談や申入れがあった場合、責任者へ報告し、内容に応じ適任者が対応している。 電話や面談、LINE等でも受付しており、迅速な対応に努めている	
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		必要に応じて連絡事項等の情報をお便りや公式LINEで発信している。・活動の内容については、HUGシステムにて公開している	
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットで保管している。 個人情報使用同意書、肖像権使用同意書等を作成している。	
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		常に相談できる体制を整えている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		その日の支援内容等を文面化し、FAXまたはメールし、情報の共有や訪問先の状況に合わせてカンファレンスを行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		面談やHUGシステムを利用して支援内容を共有している	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットで保管している。 個人情報使用同意書、肖像権使用同意書等を作成している	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っている	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各種マニュアルを保護者が観覧できるよう に玄関フロアに設置してある。 次年度にむけてBCP業務計画の研修・訓練を実施する予定。	
非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された上で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングにて職員で共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止マニュアルを作成しミーティング等で職員へ共有。 今後は外部研修にも参加したいと考えている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束は行っていない。	